

### 1-3. 景観形成基準に基づく配慮の一例

## 配慮の一例

**【形態意匠：屋根】**

周辺の地形との調和に配慮した勾配屋根

**【形態意匠：外壁】**

圧迫感や違和感を生じないように配慮し、仕様を適度に分けた壁面や開口部等の意匠の工夫



**【形態意匠：色彩】**

数値基準内で、周辺の景観と調和した落ち着いた色彩

**【規模・配置：壁面】**

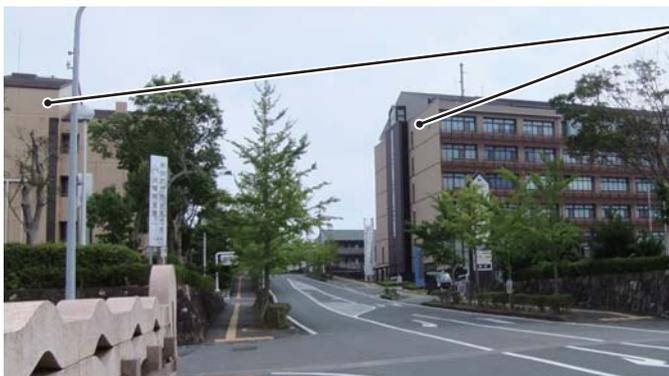
道路からできる限り後退した壁面の位置

**【外構】**

圧迫感を抑え、周辺の景観と調和する色彩を用いた敷地周囲の柵

**【敷地の緑化】**

行為地内の出来る限り多くの部分を緑化



**【形態意匠】**

色彩、素材や屋根形状を隣接する建物と合わせ、周辺との調和に配慮



**【附属建築物】**

主体となる建築物と同様の色彩とするなど、一体感のあるものとなるよう工夫



**【附属設備】**

屋上の付属設備等をルーバーで覆い、目立たないように修景